

～ 福岡日伊協会映画鑑賞会のご案内 ～

第147回上映作品

ロベルト・ロッセリーニ監督

『ドイツ 零年』

7月に上映しました「ミニヨンにハートブレイク」の中で、主人公の少年が「ドイツ零年」の映画を観た後、自殺未遂を起こします。この「ドイツ零年」を観た人ならば、彼が自殺を謀った時点で「あっ」と思うでしょう。

そこで、あらためて「ドイツ零年」を観てもらおうと思います。ロベルト・ロッセリーニ監督「無防備都市」「戦火のかなた」に続く“戦争三部作”の最後の作品です。

1946年、ロッセリーニの最初の妻との間にできた9歳の息子が、虫垂炎の後、合併症を引き起こし急死しました。この作品は、その最愛の息子に捧げられています。

ナチス・ドイツ崩壊後、ベルリンの街で、13歳の少年エドムントの家族は爆撃を免れたアパートの狭い部屋に住んでいた。父親は病気で働けず、連合軍と戦った兄は処罰を恐れて警察に出頭しなかった。食料の配給も受けられず、姉は外国人クラブでもらった煙草を売っていた。

その為、エドムントも学校に行けず、家族の生活を助けなければならなかった……。

どうぞ、ご覧下さい。

(解説:湯越勘一氏)

20時以降 美術館は閉館につき入館できませんのでご注意ください。

館内での飲食は厳禁ですのでご注意ください。

データ

制作・監督	/	ロベルト・ロッセリーニ	美術	/	ピエロ・フィリップオーネ
脚本	/	R・ロッセリーニ	編集	/	エラルド・ダ・ローマ
		マックス・コルベット	出演	/	エドムント・メシュケ
		カルロ・リッツァーニ			エルンスト・ピットシャウ
撮影	/	ロベール・ジュイヤール			インゲトラウト・ヒンツェ
音楽	/	レンツォ・ロッセリーニ			

1947年 74分

記

日時：2012年11月27日(火) 19:00～21:00

会場：あじびホール(福岡アジア美術館8F) TEL092-263-1100

(福岡市博多区下川端町3-1 ヴァインセンタービル)

入場料：無料 先着120名(直接会場へお越しください)

問合せ：福岡日伊協会 担当 井口

TEL 092 476-2153 (西日本シティ銀行内)

今後の上映予定

2012年12月17日(月) 19:00 あじびホール

作品 『フェリーニのローマ』